

独立行政法人国立文化財機構アソシエイトフェロー(建築史学)の公募について

国立文化財機構
令和3年11月15日

このたび独立行政法人国立文化財機構では、職員(アソシエイトフェロー)を公募することになりました。応募を希望する方は、写真を貼付した別紙履歴書ほか必要書類を送付してください。

1. 職種	独立行政法人国立文化財機構文化財防災センターアソシエイトフェロー
2. 採用予定人数	2名
3. 勤務場所	文化財防災センター(奈良県奈良市二条町2-9-1 奈良文化財研究所内)
4. 雇用期間	令和4(2022)年4月1日～令和7(2025)年3月31日(採用日の前倒し応相談)
5. 分野	建築史学
6. 職務内容	1. 文化財建造物の保存修理に係る資料(図面、写真、野帳等)の調査研究、整理、分類、デジタル化等のアーカイブ作成。 2. 上記職務遂行に要する専門性向上のため、文化財建造物及び文化財防災の関連業務に携わることもあります。
7. 勤務様態	①勤務日 月曜日～金曜日 ②休 日 土曜日・日曜日、国民の祝日、年末年始(12月29日～1月3日) ③勤務時間 始業9:00～終業17:00(1日7時間) 休憩時間 60分(12:00～13:00) ④休暇等 年次有給休暇有 ⑤その他休暇 夏季休暇・忌引等(有給) ⑥受動喫煙防止措置の状況 敷地内原則禁煙(禁煙専用室あり) *超過勤務、休日勤務等の可能性もあります。 *詳細は「独立行政法人国立文化財機構アソシエイトフェローの就業に関する規則」等によります。(独立行政法人国立文化財機構 WEB ページにてご覧いただけます。 URL: https://www.nich.go.jp/)
8. 給与等	①年俸3,960,000円(月額基本給330,000円)*研究・実務経験等に応じて決定します。 *月額基本給(年俸の12分の1の額)を毎月17日に支給します。 ②その他手当等(該当時に支給される手当) 通勤手当(月 55,000 円上限)、休日給、超過勤務手当等 ③保険等 雇用保険、健康保険・厚生年金加入 *詳細は「独立行政法人国立文化財機構アソシエイトフェローの就業に関する規則」等によります。(独立行政法人国立文化財機構WEBページにてご覧いただけます。 URL: https://www.nich.go.jp/)
9. 応募資格	応募資格は以下のとおりです。 ①大学院で建築史学の領域を専攻し、修士の学位を有する者(令和4年3月修了見込を含む)、またはそれと同等の研究業績を有する者。 ②文化財建造物の保存修理に関して実務経験もしくはアーカイブ業務の経験がある者、または大学研究機関等において同内容に関する研究、指導助言等の実務経験がある者が望ましい。
10. 選考方法	①第1次選考 書類選考を行います。 ②第2次選考 第1次選考合格者に対して以下の試験を実施します。 ・筆記試験 専門試験(建築史学、文化財建造物保存修理に関する設問) ・面接試験 *第2次選考の時間及び場所等の詳細については、第1次選考合格通知時に別途連絡します。
11. 提出書類	以下の書類をご提出ください。なお、郵送にて提出の場合、書類はA4片面印刷、クリップ止めにて提出してください(冊子、ホチキス止め不可)。 ①履歴書(様式1 PC作成可 写真貼付 A4片面印刷) ②研究業績調書(様式2 PC作成可 A4片面印刷 クリップ止め) ③これまでの実務的業績目録(様式自由 PC作成可、A4片面印刷) ④研究業績の別刷(A4片面印刷) 主な研究業績(論文等)の別刷を1点提出すること。 冊子不可。冊子の場合は必ずA4片面コピーをとったものを提出すること。

	<p>修士・博士論文等提出時は、日本語で4,000字以内のレジュメを添付すること。</p> <p>⑤卒業(修了)証明書、もしくは卒業(修了)証書をコピーしたもの (大学学部以上の全て。外国語による場合は日本語訳を添付すること。)</p> <p>*推薦書添付可(必須ではありません。)</p> <p>*ご提出いただきました書類は返却いたしません。</p> <p>また、ご記入・ご提出頂きました個人情報、当公募の管理・審査以外の目的に使用いたしません。(当法人の文書管理規程に基づき厳正に管理いたします。)</p>
12. 選考スケジュール	<p>本採用は応募締切を2回設けます。応募締切ごとに選考を実施いたします。選考スケジュールは下記のとおりです。</p> <p>応募締切① 令和3年11月30日(火) 17:00 必着</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1次選考結果通知 令和3年12月中旬頃 ・第2次選考実施日 令和3年12月20日(月) 9:00～(予定) ・第2次選考結果通知 令和3年12月下旬頃 <p>応募締切② 令和4年2月4日(金) 17:00必着</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1次選考結果通知 令和4年2月中旬頃 ・第2次選考実施日 令和4年3月2日(水) 9:00～(予定) ・第2次選考結果通知 令和4年3月上旬頃 <p>*第1次選考及び第2次選考の結果を総合的に判断し、採用予定者を決定します。</p> <p>*選考結果は、応募締切ごとに、それぞれ上記の時期に可否にかかわらず本人宛に文書で通知します。</p> <p>*応募締切①の選考により、採用予定者が決定した場合、公募を終了し、以降の試験は実施いたしません。</p>
13. 応募方法等	<p>①当選考案内は文化財防災センターWEB ページからダウンロードが出来ます。 (URL:https://ch-drm.nich.go.jp/)</p> <p>②郵送にて提出の場合、封筒に「アソシエイトフェロー応募書類在中(建築史学)」と朱書きし、郵送(受領の確認できるもの)により提出してください。</p> <p>③メールにて提出の場合、メールのタイトルを「アソシエイトフェロー応募(建築史学)」として、全ての書類をPDFにして添付してください。メールでの提出後、担当より受付完了のメールを送信します。提出後、応募締切日を過ぎても受付完了のメールが届かない場合は、下記宛お問い合わせください。</p> <p>④提出先・問合せ先 独立行政法人国立文化財機構文化財防災センター総務担当 〒630-8577 奈良市二条町2丁目9番1号 TEL 0742-31-9056 / E-mail: kai-y6z@nich.go.jp</p>
14. 募集者名称	独立行政法人国立文化財機構

区分	年	月	資格等
資格	年	月	
	年	月	
	年	月	
	年	月	
	年	月	

現在の勤務先

ふりがな
名称
所在地 (〒 -) Tel() -
職種及び職務内容(具体的に)

自己紹介欄

志望動機・当館勤務における抱負	
専攻(専門分野)及び所属学会等	
主要論文等テーマ(応募時添付のもの)	
語学 英語 (1 2 3 4 5) 他の外国語 _____語(1 2 3 4 5)	趣味・スポーツ
<p>どちらで、この度の公募をお知りになりましたか？ 該当の□にレを記入してください。</p> <input type="checkbox"/> 文化財防災センターのウェブサイト <input type="checkbox"/> JREC-IN(研究者人材データベース) <input type="checkbox"/> その他()	
その他	

履歴書について

- (1) パソコンによる入力可とします。なお、自筆の場合は、万年筆又はボールペン（黒色又は青色）で記入してください。
- (2) 年は元号で、数字は算用数字を用い、文字は楷書により正確に書いてください。
- (3) 写真の裏面には氏名を記入して、履歴書に貼付すること。
- (4) 職歴欄にはすべての職歴を記入し、非常勤の職の場合は週あたりの勤務時間数を明記すること。
- (5) 語学欄は下表を参考にして、本人の語学力に最も近いと思われる番号を○で囲むこと。
- (6) 他の外国語欄も下表に準じて記入すること。

1	高校までの授業や大学で履修したことはあるが、以後ほとんど使用していない。又は一切忘れてしまっている。
2	身近な言葉をゆっくり話してもらおうと最低限理解できる。 外国への出張や旅行、又は、外国人の来訪の際など、必要に迫られれば、自分の身の周りの会話は努力して使っている。一応、ある程度定期的に自分で学習する努力をしている。（入門・初級） （英語の場合、目安として、TOEIC 370点程度若しくは英検3級程度）
3	日常生活に必要な言葉であれば、要点を理解し応答に支障はない。仕事上で、手紙や短い文章を読んで理解することはできる。（中級） （英語の場合、目安として、TOEIC 560点以上若しくは英検2級程度）
4	仕事である程度のコミュニケーションが取れる。仕事上の必要があれば資料を使って概要を説明できる。一応の電話等の対応ができる。（中上級） （英語の場合、目安として、TOEIC 760点以上若しくは英検準1級程度）
5	仕事で十分なコミュニケーションが取れる。外国語での書簡を読んで、返事の下書きを書いたり、外国語による会議に出席して、その概要をまとめたりできる。（上級） （英語の場合、目安として、TOEIC 940点以上若しくは英検1級程度）

例 英語（1 2 3 ④ 5） 他の外国語（独語 4）

- (7) 英語検定、中国語検定、TOEFL、TOEIC等の語学検定を受験している場合には、資格取得の年月、試験の点数等を語学欄、他の外国語欄に記入すること。例 英検準1級（H28） TOEFL 450点（H29）
- (8) ボランティア経験等はその他欄に記入すること。
- (9) メールにより連絡・通知等をする場合も考えられるため、添付ファイルを受信できるメールアドレスを記入すること。

(様式 2)

研究業績調書

○印	テーマ	内 容	氏名	
			発表等の時期及び方法	共同研究者

記入要領

- 研究業績及び教育事業実績の記入は次の順序とし、かつ、同一項目のものについては年代順に記入する。
イ 学会誌 ロ 公刊図書 ハ 機関紙・内部報告 ニ 口頭発表 ホ 展観等
へ 研究調査 ト 教育事業実績 チ その他
- 研究テーマ等で代表的なものに○印をつける。
- 共同研究者の欄は主たる研究者に○印をつける。